

次世代自動車センター浜松 活動レポート Vol. 68

■ 第7回カイゼンベースWebセミナー『時間研究の考え方と活用法』（会員限定）

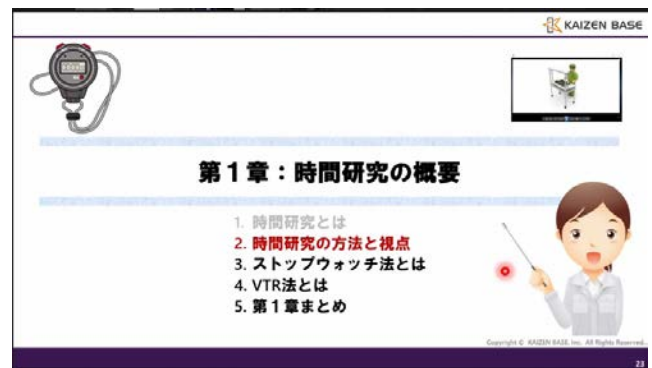
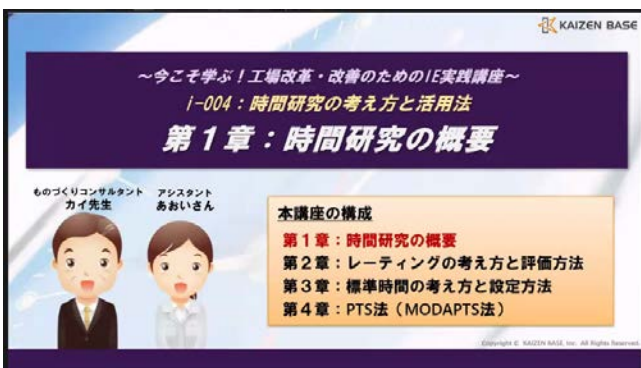
次世代自動車センターでは、新型コロナウイルス感染症対応として、2020年度事業計画で予定していた講座のうちWeb化可能な講座と、「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策に関する自動車産業実態調査」アンケートにおいて希望の多かった新入社員・若手社員向け社内教育のためのテーマについて、自動車工学基礎講座Webセミナーの一環として実施しています。

今回、その第7回目として、カイゼンベースWebセミナー「時間研究の考え方と活用法」を実施しました。

■ 日時： 令和2年1月20日（水）13時30分～15時30分

■ 場所： web形式

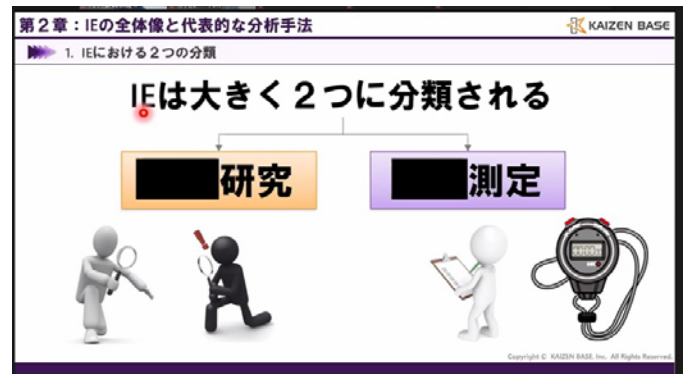
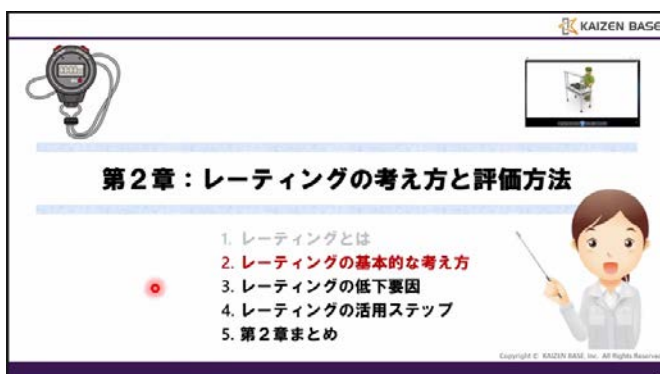
■ 参加者： 35社/57名



自動車工学基礎講座

第7回 カイゼンベースWebセミナー
「時間研究の考え方と活用法」

公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構
次世代自動車センター



【参加者の声】

- ・社内においての非生産的要素を、感覚では無く時間という数値化で表し、問題点を細かく紐解き、解決する考え方をおおいに活用していきたい。
- ・標準時間に対し、余裕時間（余裕率3～10%）の考え方が理解できた。
- ・業務上、標準作業工数を設定する機会があり、測定方法や分析方法など業務に活かせる内容が多くあった。
- ・レーティングの考え方はとても参考になった。細かに分析した人の動きの積み重ねにより標準時間を見出す事の重要性を認識致しました。
- ・E C R Sの4原則や標準時間の考え方等、初めて聞く内容だった為、参考になった。
- ・現場改善をしていく中で動作ロスや工程配分を考慮していくのに参考になった。
- ・時間研究の概要や標準時間などについて知る事ができ、普段自分が行っている業務にも繋がる事があったので参考になった。
- ・標準時間の考え方、設定方法の内容は、作業時間に対し無駄をなくす取り組みとして、とても参考になる内容であった。
- ・ストップウォッチ法・V T R法は自社内でも実施してはいたが、十分に分析が出来ていなかったことが、今回のセミナーを受講して理解できた。
- ・標準時間を予め設定しておくことで、習熟度評価（スキル評価）・生産管理に応用できると感じた。
- ・今後、スマートファクトリーに取り組む上でI o T・A Iを踏まえ、デジタル化を進める基本を見直せた。
- ・事前配布のパワーポイント資料もわかりやすく、章毎に重要点の振り返りと再認識を実施出来、理解度が高まるよう工夫されていると感じました。
- ・P T S法は初めて聞き、とても新鮮で参考になった。